

しておく必要があります。高脂血症は悪玉コレステロール LDL が高血圧や心筋梗塞の原因になることが知られており、食事に注意をしても LDL が低くならなければ薬を服用する必要がありますことに納得していただけます。問題は高血圧です。降圧剤を飲み始めたら一生飲まなければならないといわれるので、痛くもないし体調も悪くないので薬に頼りたくないと考える方がいらっしゃいます。脳出血の原因は高血圧によるものが殆どです。減塩の食事で血圧が正常になれば良いのですが、血圧が高いままならば、症状がなくとも体調が良好でも降圧剤を服用する必要があります。高血圧性脳出血は降圧剤により血圧が正常になれば防げます。

③ まとめ

痛みを伴う病気は痛みを除くためにも診断治療を積極的に受けられる方が多いと思います。問題は痛みも症状もない場合です。これまで説明したように痛みも症状もない疾患も放置してはますます悪化してしまいます。早めの受診を強くお勧めします。



薬剤科からのお願い

薬剤科科長 宮野すみ子



薬は他の人にあげないで！

長いGWがありました。旅行を楽しまれた方も多かったのではないのでしょうか。そしてもう夏休みシーズンです。旅行の予定がある方もいらっしゃると思います。旅行の持ち物リストに薬はあげていますか？

痛み止めや花粉症の薬が多いのですが、旅行中、「これは効くわよ。試しに飲んでみる？」と言って同行者に勧めている会話を耳にすることがあります。薬剤師である私は、副作用が出なければよいのだけど、と不安でしかたがありません。

病院から自分に処方された薬を他の人に渡す、飲む事は大変危ない行為です。医師は、その患者様の状態にあった薬を処方します。自分には大丈夫でも、他の人には合わない薬があることを知っておきましょう。

その薬を飲んだ人に副作用がでて、治療が必要になった、というような事が起こる可能性があります。薬には副作用があること、自分にはその副作用が出なくても、他の人には副作用が出る可能性があることを考え、薬の名前を相手に教える位が良いでしょう。

医師に処方してもらった薬は、他の人にはあげない、これは鉄則です。

